

紫外線(UV-C)照射による空気環境対策で

世界の空気を うつくしく

「エアロシールド」による紫外線の
室上部照射方式だからできる

空間全体の 空気環境対策。

エアロシールドは、
「身近にいる大切な人を守りたい」という思いやりから生まれました。

エアロシールド社の創業のきっかけは、開発者の家族が入所する高齢者施設の「空気環境の改善」について考えたことから始まりました。「空気環境」がさまざまな問題の原因となっているのに、空気は目に見えないからこそ、なかなか本質的な対策がなされていません。「大切な人を守りたい」その思いから、空気環境を改善する解決手段として生み出されたもの、それが紫外線照射装置「AEROSHIELD(エアロシールド)」です。



独自の空気環境対策で、これまでにない空間づくりをサポート。

エアロシールド社は、15年以上前から、人がいる空間で空気環境対策ができる、紫外線照射装置を開発・販売しています。当社が大切にしている「本質的な空気環境対策」というのは、ただ紫外線照射装置を設置する、ということではありません。一言で「空間」といっても、さまざまな環境の違いがあるため、最適な対策を実施するためには、空気環境対策に関する専門的な知見が必要です。

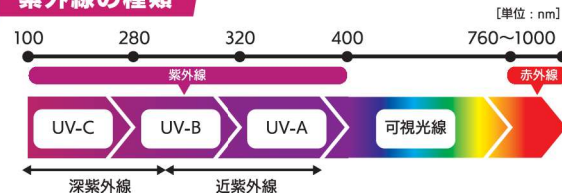
当社は今までに1000以上のさまざまな施設に導入してきた実績と知見を活かして、お客様の空間に最適な空気環境対策を提案してまいります。

紫外線照射による空気環境対策は効果が高い一方で、徹底した安全管理が求められます。日本国内生産による製品品質と、導入後に安全・安心にご使用いただくために、製品の設置工事、設置後の定期メンテナンスなどにおいて、独自の安全管理基準とこれまでの知見を活かして、お客様に寄り添ってサポートします。

深紫外線(UV-C)による
空気環境対策。

空気環境を整え、空気質を高める方法として紫外線を使った対策が注目を浴びています。紫外線は、波長別に315～400nmの「UV-A」、280～315nmの「UV-B」、100～280nmの「UV-C」の3種類に分類されます。このうち紫外線の中でも波長が短く、ウイルス抑制・浮遊菌の除菌効果を持ち、常温利用可能など優れた特性があるのが深紫外線(UV-C)です。

紫外線の種類



東北医科薬科大学 病院感染制御部
遠藤 史郎 部長

1時間あたり10回の換気に匹敵するエアロゾル対策

室内の空気環境対策として、「エアロゾル(空気中の微粒子)」対策が最も難しいとされています。エアロゾル対策として、換気をするなど常に空気の流れを作ってあげることが大切です。空気の流れは目に見えないため、うまくいっているかわかりにくいという問題があります。この他の対策として、UV-Cによる紫外線の室上部照射方式は、1時間あたり10回の換気に匹敵する量の空気中のウイルス抑制が期待できるとされていますので、窓のない部屋など、換気が難しい環境には有効な対策の一つと考えられます。

Made in Japan

1000施設以上の
導入実績

15年以上の
開発・販売ノウハウ